

行っている。

(加納由希絵)

中部地区の中小企業のミャンマー進出を支援する動きがじわり広がっている。支援を充実させる公的機関に加え、知識と経験を支援に役立てようとする民間団体も事業を拡大している。

あいち産業振興機構  
・国際ビジネススクールの担当者は、ミャンマービジネスについて

## ミャンマー進出支援充実

て、「とりあえず聞いてきた。

みるという姿勢から、名古屋市の一般社団法人「持続可能なモノフトしつある」と指摘。一刻と変化する最新情報を的確に伝える機会を設けていく。業OBが中心となり、

### 相談窓口や研究会で

### 最新情報伝える

### 厳しさも率直に

中小企業基盤整備機構中部本部の相談窓口には、13年度に入ってからミャンマーに関する相談が10件寄せられている。12年度は7件だった。14年度は東京で開催している現地企業との商談会について、名古屋での開催を検討するという。

民間団体も力が入っている。鈴木氏は「ミャンマーは資源が豊富で人の気質も日本人と合っている。しかし、ビジネスに関して日本は中国や韓国に後れを取っている」と話す。経験で知った厳しい現状も率直に伝えるなど、支援

